【令和７年度事業報告書】

総括的概要

※枠内は事業計画

人口減少は経済活動だけではなくすべての社会基盤を危うくする。
令和７年度においても、地域一体となり、倉吉ならではの取り組みによる「倉吉の人口を増やす」ことに全力投球する。
また、県立美術館開館を契機とする地域活性化や、新たな倉吉モデルの地方創生の取り組みを実施する。

■事業報告

1　企業への支援の充実

(1)企業に役立つ情報発信の強化
(2)燃油・電気代・原材料高騰等への相談対応
(3)スタートアップ、新規創業相談対応強化
(4)事業承継、経営改善、新分野展開、人材確保等への相談強化
(5)商談会、販路開拓支援強化
(6)経営発達支援計画の実行による管内事業者への支援

(1)国、県、市、当所の支援施策を一覧にしたチラシや、個別の施策チラシを会報への折込の他、当所ホームページへ掲載、メール通信等で情報発信を行い、事業者からの問い合わせへの対応、申請の支援を行った。
しかし、上記の情報発信だけでは、周知が不足していることが課題であることから、令和８年度は巡回訪問による情報の提供にも努めて、企業に役に立つ情報をしっかり届けて支援を行っていく。
(2)(3)(4)事業者からの相談について職員が対応して支援にあたった。
令和８年度も職員の資質向上に努めて事業者の相談等に対応していく。
(5)会員事業者の首都圏への販路拡大を目指して、GOURMET SHOW(9/3～5　東京　4社)、FOOD STYLE Japan（11/19～20　九州　1社）に出展して支援を行った。結果として 30 件の成約に至った。令和７年度は新たな取り組みとして、県内商工会議所との共同出展を行った。令和８年度も共同での出展を予定しており、より来場者の目に付くよう効果的なブース作りを行い、成約に繋げていく。
その他、当所の「商品開発販路開拓補助金」、倉吉市の「商品等販路開拓支援事業補助金」を活用して 12 社を支援した。（内、3 社は現在事業遂行中）
(6)3 月に認定を受けた計画を実行するにあたり、当所の支援方針を職員で共有して支援にあたっている。

２　移住・定住対策、若者定住対策、周知の徹底

(1)高校と連携した地元就職対策と周知の徹底

(2)I、J、Uターン希望の若者への各種補助金の充実と周知の徹底

(3)年齢層毎の個別対策の分析、施策展開

(4)地元企業への各種補助金の充実と周知の徹底

(1)新たに中部１市４町と商工団体共催により、倉吉総合産業高等学校の１年生を対象に企業合同説明会を開催した。(10/23 開催　伯耆しあわせの郷　参加企業：40 事業所) また、倉吉農業高等学校の１年生、２年生を対象に倉吉市企業合同説明会を開催した。(3/19 開催　倉吉農業高等学校　参加企業：20 事業所)

高校卒業後や大学卒業後に倉吉の企業への就職を考えていただく良い機会となっており、企業説明会が市内の事業所を知る機会となって、令和７年４月に参加した事業所へ就職したという成果にも繋がっている。

令和８年度も倉吉市等と協力して本事業に取組んでいく。

(2)(4)倉吉市の補助金を各種会議開催時に配布して周知したが、周知不足が課題であることから、令和８年度は巡回訪問による情報の提供にも努めていく。

(3)倉吉市において奨学金返還支援や若年層への転入奨励金、住宅取得、移住定住等について支援を行っている。当所において個別対策の分析については未実施であるが、令和８年度も倉吉市と協議・検討していく。

３　まちの活性化に向けた組織体制確立、推進

(1)第３期中心市街地活性化計画推進

(2)空き家活用センター設立

(3)「くらしよし倉吉プロジェクト」との連携

(4)地方創生倉吉モデルの確立

(5)まちづくり人材バンクの設置

(1)倉吉市と協議して計画推進中。

(2)12 月１日竣工オープン、倉吉市、ＮＰＯ、関係機関と協議を重ねている。

(3)倉吉市が PR 動画等を作成、今後については協議。

(4)空き家活用センターを中心とした空き家・空き店舗活用の取り組みの中で実施。

(5)まちづくり人材バンクの設置はまだ進んでいない。

４　倉吉の強みの強化(倉吉と言えば○○の確立、周知の徹底)

(1)白壁土蔵群、中心市街地、打吹山、伯耆国庁跡は日本の原風景

(2)伯乃富士関、琴櫻関、牛骨ラーメン、フィギュア、アニメ等は日本一のコンテンツ

(3)映画「八犬伝」を契機とする「里見関係」の積極的なプロモーション

(4)淀屋、倉吉絣、はこた人形等の歴史、伝統工芸

(5)脱炭素先行地域づくり事業の推進

(6)「遥かな町へ」の映画化を推進

⑴空き家活用センター設立、他は進展していない、市が検討中。
⑵伯乃富士関、フィギュアは一部進展、他は進展していない、市が検討中。
⑶は倉吉せきがね里見まつりを９月に開催している。
⑷は倉吉絣の暖簾を掲揚する事業を行っている。
⑸5月の認定を受けて事業推進について倉吉市が検討中。
⑹応援する会事務局として倉吉市等と連携して寄付、協賛の活動を進めている。

5 観光対策の推進

(1) 県立美術館、インバウンド対応としての「今だけ、ここだけ、あなただけ」のきめ細かな観光もてなし施策

(2) 関金活性化（温泉、施設間連携、倉吉線廃線跡、里見八犬伝等の日本有数の観光資源の活用）

⑶北条湯原道路早期完成

⑴倉吉の歴史的資源を活用したまちなみ活性化事業により推進検討中。
⑵倉吉線廃線跡の活用、HOTEL 星取テラスせきがねがオープン。
⑶9月に当所、(一社) 鳥取県中部建設業協会連名により国土交通省他へ要望。

6 県立美術館開館を契機とする地域活性化

⑴市内全体で経済循環できる導線の確保(起点施設の整備、情報伝達手段、移動手段、市内複数の駐車場整備)

⑵倉吉市立博物館、円形劇場くらよしフィギュアミュージアム、アート格納庫M、グッドスマイルカンパニー倉吉工場との連携、特に円形劇場活性化

⑶歓迎フラッグ、ポスター掲示、市内経済循環スタンプラリー実施

⑷集いの森の活用（倉吉パークスクエア内）

⑴打吹エリア周遊モビリティ、うつぶきループバスの運行。
⑵各施設での特別展の開催及びパンフの相互設置。
⑶歓迎フラッグを作成し市内の主要場所に設置していたが、時期が遅れた。
⑷倉吉パークスエア内にカフェをオープン（バルコス集いの森店）

7 部会活動の活性化

昨年度同様、活発に活動していただいている。

8 財源確保

⑴ふるさと納税、企業版ふるさと納税の強化、充実、掘り起こし

「 遥かな町へ」映画化案件として倉吉市と連携して進めている。

（企業版ふるさと納税　3,200 万円）

■主要事業

（１）企業への支援の充実、まちの活性化、倉吉の強み強化

［継続］【商談会出展事業】
・都市圏等で開催される展示・商談会等への出展支援
行政機関等が行う商談会等の周知

・GOURMET SHOW（9/3～5　東京　4 社）に出展　　総来場者数 32,268 人
FOOD STYLE Japan（11/19～20　九州　1 社）に出展　総来場者数 17,517 人
成約件数：30 件
・行政機関等が行う商談会について、当所ホームページへの掲載や職員が直接事業者に案内して参加勧奨を行っている。
・商談会参加について個別に案内をしているが新たな出展者が少ないことから、令和 8 年度は好事例を紹介して積極的な出展を呼び掛けていく。

［継続］【商品開発・販路開拓支援事業】
・新商品開発、既存商品改良、それに伴う展示会出展などの販路開拓支援
・ＥＣサイト活用による売上拡大支援

・倉吉商工会議所商品開発販路開拓補助金交付決定　5 社
（商品開発 4 社、販路開拓 1 社）
・倉吉市商品開発販路開拓支援事業費補助金交付決定　販路開拓 7 社
・事業者のＥＣサイト活用による売上拡大ついてのセミナーやサイト構築について専門家を派遣して支援を行ったが、周知不足により参加者等が少なかった。令和 8 年度は巡回訪問による情報の提供にも努めて参加等を促していく。

［拡充］【スタートアップ、創業支援事業】
・スタートアップ、創業支援相談窓口設置による支援の明確化、チャレンジショップ事業、創業スクール開催による創業者の掘り起こしと事業計画策定支援・創業後のフォローアップ

・当所会館玄関、事務所入り口に「スタートアップ、創業支援相談窓口」看板を設置、ホームページでも周知して相談に応じている。
（巡回：５件　５回、窓口：１６件　２６回）
・チャレンジショップ　令和 7 年度 2 者入店
（4 月入店：白狐屋（アパレル、雑貨販売）、7 月入店：ブッダボウル（飲食業））
・「創業スクール in 鳥取中部」　7/6・13 開催
参加者：24 人（内、当所関係 8 人参加）
・創業スクール、相談窓口での支援において創業に至った者は 13 件であった。
・チャレンジショップ出店後や創業スクール開催後も個別に事業計画策定や資金調達等の支援、創業後の事業進捗確認、記帳等のフォローを行っている。

［拡充］【事業承継支援】

・事業承継支援相談窓口設置による支援の明確化、「鳥取県事業承継・引継ぎ支援センター」、倉吉市と金融機関、各支援機関による「事業承継ネットワーク」と連携した事業承継支援、各事業所へのアンケート・聞き取り実施

・当所会館玄関、事務所入り口に「事業承継支援相談窓口」看板を設置、ホームページでも周知して相談に応じている。（延べ９件）
・関係機関と連携を図り事業承継支援を実施中（延べ９件）
・アンケートは未実施。
令和８年度はヒアリングシ―トを活用して聞き取りを行っていく。

［新規］【事業者への伴走支援】

・新分野進出、生産性向上等に向けた事業計画策定支援、各種補助金申請支援と計画のフォローアップ
・資金繰り、経営改善、新事業展開等の経営課題に対して、商工会議所、金融機関、信用保証協会、産業支援機関が連携して具体的な改善策を提案し、事業者の経営力向上をサポートする「とっとり企業支援ネットワーク」の活用促進

・情報発信の強化により事業者から補助金の内容や申請についての問い合わせも多くなってきており、国、県、市の各種補助金を活用して事業者の新分野進出、生産性向上に向けての取組みを支援した。
・「とっとり企業支援ネットワーク」については、県のサポートセンター、各金融機関等と連携を図り事業者の経営改善による課題解決のサポートを行った。
・令和８年度も各種施策を活用しながら事業者の支援を行っていく。

［新規］【デジタル化・ＤＸの推進】

・業務の効率化、生産性向上のためのＤＸ推進に向けた事業者向けセミナーの開催
・Ａｉｒビジネスツール（エアペイ、エアレジ、エアシフト、エアリザーブ等）の活用によるデジタル化の推進

・「ＡＩを活用し成功戦略を描く　事業計画策定セミナー」　9/24 開催　12 人参加
・「ＩＴツール（Ｃａｎｖａ等）活用セミナー」
10/28 開催（商業部会主管）　17 人参加
・「トレンドをキャッチする！　生成ＡＩも活用　ニーズの読み方セミナー」
10/31 開催（観光交通業部会主管）18 人参加
・「ＡＩツール活用セミナー」　2/18、3/12 開催　延べ 29 人参加
座学でのセミナーが多くワークショップは 1 回であった。令和 8 年度はワークショップ形式のセミナーを多く開催する。
・事業者のＡｉｒビジネスツールズ導入によるデジタル化の推進を推進するため、会報にチラシを折込んで周知を図ったが申込は無かった。
・令和８年度は創業相談時等にツールを紹介するなどして事業者のデジタル化を推進していく。

［拡充］【個別相談会実施事業】
・創業、事業承継、金融、知的財産権、確定申告・消費税申告等、経営課題に対する経営支援専門員、専門家による個別相談会の実施

・それぞれの機関による定例の個別相談会について当所会報・ＨＰ、日本海新聞に掲載して情報提供を行い各機関と連携して実施した。
・個別案件については職員が対応し、必要に応じて専門家と連携を図った。
・「確定申告・消費税申告無料相談会」　2～3 月　3 日間開催　延べ 8 人参加
・相談者が少ないことが課題であることから、令和 8 年度は巡回訪問による情報の提供にも努めて参加等を促していく。

［継続］【制度改正や事業環境変化への対応に関するセミナー開催事業】
・税制度や労働法制等の改正、賃金引上げやデジタル化、エネルギー・物価高騰等

・「年収の壁セミナー」　6/18 開催　13 人参加
・「情報セキュリティ対策基礎セミナー」　8/29 開催　12 人参加（庶業部会主管）
・「賃上げ・物価高騰に負けない各種支援施策活用セミナー」　1/22 開催　10 人参加
・「カスタマーハラスメント対策セミナー」　1/28 開催　13 人参加
・「専門家による無料相談会」　10/29 開催　2 人参加
・周知不足等により参加者が少なかった。令和 8 年度は巡回訪問による情報の提供にも努めて参加等を促していく。

［継続］【セミナー・専門家派遣実施事業】
・各種セミナーの開催
・オンデマンド（ＷＥＢ）セミナーの配信
（人材育成、生産性向上、物価・エネルギー高騰対策、
税務・労務、デジタル化・ＤＸ、知的財産権等）
・経営課題解決に向けた専門家の派遣

・「WEB セミナー」　4 月～3 月　総利用者 1,282 人、総視聴本数 2,678 本
・「新入社員研修」　4/10･11 開催　延べ 43 人参加
・「価格適正化対応セミナー」　7/9 開催　21 人参加
・「次世代経営を支える経営のいろはセミナー」　1/16 開催　5 人参加
・会計ソフト「ブルーリターンＡ」講習会　1/29 開催　7 人参加
・専門家派遣　6 社延べ 11 回（経営、法務、SNS 活用　等）
・周知不足等により参加者が少ないセミナーがあった。令和 8 年度は巡回訪問による情報の提供にも努めて参加等を促していく。

[継続]【第10回倉吉まちゼミ開催事業】
・地元商店買い物利用者を増やすための「まちゼミ」開催

・第2回倉吉まちゼミマルシェ　9/23開催
ｴｰｽﾊﾟｯｸ未来中心ｱﾄﾘｳﾑ　出店16店　来場者約320名
・第10回倉吉まちゼミ　10/14～12/8開催　29事業者36講座　アンケート回収218件
・令和8年度に向けて、ゼミ参画事業者(店舗等)の新規開拓及び一般ゼミ参加者の若年層の取り込み強化を図る。SNSの効果的な活用方法等について、まちゼミ事業に関連させて宣伝を強化させる取り組みを行う。

[拡大]【中心市街地活性化事業】
・第３期中心市街地活性化基本計画実施
鳥取県立美術館活用事業
空き家活用センター事業
サテライトオフィス誘致事業
倉吉の歴史的資源を活用したまちなみ活性化事業
のれんの揺れるまちプロジェクト
・フィギュアのまち倉吉を創る会
・コンテンツ強化、観光強化

・GINZA ART PROJECT「商店街美術館」の実施(～9/30)、R8年夏オープンに向けた小川家住宅・旧高多邸の整備工事等、第３期中心市街地活性化基本計画に則った実施を行っている。
・空き家活用センターについては、12月１日竣工オープン倉吉市と共同運営し、物件所有者と活用希望者のマッチング事業・相談事業などを展開している。また、のれんの設置エリア拡大、フィギュアコンテンツの維持管理強化も進めている。

[新規]【プレミアム商品券事業への協力】
・倉吉市が行う「プレミアム付きデジタル商品券事業」の市内店舗への周知協力

・「プレミアム付デジタル商品券事業」について、会報にチラシを折込みして周知した。
・物価高騰対策として倉吉市が発行する「くらし応援商品券」事業を受託して取り組んでいる。
（令和８年２月２日～令和９年３月１日まで)

[新規]【地域イベント事業協力】
・やきとりJAPANフェスティバルへの協力（9月27日・28日）
・全日本瓦工業事業連盟全国大会への協力（11月14日・15日）
・鳥取県立美術館開館記念・全国代表書作家展（12月13日～28日）
・その他イベント事業への協力

・やきとりJAPANフェスティバルへの協力、支援実施。
・全日本瓦工業事業連盟全国大会への協力実施。
・鳥取県美術館開館記念・全国代表書作家展への協力。
・映画「遥かな町へ」支援。

（２）移住・定住対策・若者定住対策、周知の徹底

［拡充］【県内外求人情報発信事業】
・会員事業所の求人募集（8 月、12 月）
（新聞折込チラシ、ホームページへの掲載）
・高校生を対象とする企業説明会の開催

・求人広告新聞折り込み（27,010 部×2 回）、8 月 29 社、12 月 31 社
当所ホームページ掲載
・倉吉総合産業高等学校の 1 年生を対象に中部 1 市 4 町と商工団体共催による企業合同説明会を開催した。（10/23 開催　伯耆しあわせの郷　参加企業：40 事業所）
・倉吉農業高等学校の 1、2 年生を対象に倉吉市と共催で企業合同説明会を開催した。
（3/19 開催　倉吉農業高等学校　参加企業：20 事業所）

［継続］【外国人材活用事業】
・企業の人材確保を支援するため外国人の技能実習、特定技能、技術・人文知識・国際業務、介護分野の各制度を活用し、商工会議所が関係機関と連携して取り組む
・外国人技能実習生への日本語学習の機会提供
（当所主催及び他団体との連携開催）

・人材確保に向けた関係機関との連携については未実施。
・日本語学習の機会提供については、スキルウェイ協同組合と連携して、外国人技能実習生を対象にした「日本語教室」を開催した。（11/15、22、29 開催　参加者：延べ８人）
・それぞれの事業所で勉強会を実施しているところもあり参加が少なかった。令和８年度は事業所の状況を把握しつつ行政関係団体と協力して実施する。

［継続］【情報発信推進事業】
・各種補助金、施策（国・県・市等）の情報発信強化
・各種セミナー開催情報の発信強化
・伝えたい情報が的確に伝わるホームページへのリニューアル
（情報発信力の強化、入会メリット・各種支援内容等の明確化、各種申込の WEB 化）
・商工会議所だよりの内容充実
・商工会議所メール通信の内容充実と送信回数の拡充
・ＳＮＳ・マスコミの積極的な活用

・６月下旬より当所ホームページをリニューアルし、視認性・利便性を向上させ、閲覧者がアクセスしやすい環境に整備した。各種補助金情報やセミナー情報等も閲覧者へ伝わりやすい構成となっており、インスタグラムへのリンク等、幅広い情報発信が可能となった。メルマガ登録者の拡充を目的とした周知チラシ･会報送付状での PR、新日本海新聞社と連携した「とりビジ」配信も開始した。
・発信した情報を見ていただけているか課題であり、令和８年度は巡回訪問による情報の提供にも努め利用等を促していく。

（３）県立美術館を契機とする地域活性化

【鳥取県立美術館盛り上げ事業】 ・倉吉春まつりと連携して美術館開館を記念するイベント開催 ・オープンイベント開催（歓迎ポスター、フラッグ掲揚、スタンプラリー） ・アート活用・商品開発セミナー開催

・4/6 鳥取県立美術館開館イベントとして、「くらよし桜まつり」が開催された。
・歓迎フラッグを作成し市内の主要場所に設置していたが、時期が遅れた。
・アート活用・商品開発セミナーは未実施。

（４）部会活動の活性化

【商業部会】 ・倉吉まちゼミ開催、IT ツール活用セミナー開催

・部会常任委員会開催　7/28　参加 11 人
・「倉吉まちゼミ」アイデア・情報交換会　4/15･5/16･7/29･8/27 開催（4 回）
・「倉吉まちゼミ」参加店募集セミナー「歩きたくなるまちへ」
　6/20 開催　延べ 29 人参加
・第 10 回倉吉まちゼミ参加店舗説明会　9/16 開催
・第 2 回倉吉まちゼミﾏﾙｼｪ 9/23 開催 ｴｰｽﾊﾟｯｸ未来中心ｱﾄﾘｳﾑ 出店 16 店　約 320 人
・第 10 回倉吉まちゼミ　10/14～12/8 開催　36 講座、受講者 218 人
・「ＩＴツール活用セミナー」　10/28 開催（主管）　17 人
・部会常任委員会開催　12/9　12 人
・鳥取流通部会正副部会長との意見交換会　2/20　7 人
・第 10 回くらよしまちゼミ実施報告会 3/25　13 人

【工業部会】 ・企業見学会＆ビジネス交流会実施 ・県内商工会議所工業部会正副部会長会議参加 ・スーパーＧＴ決勝レース視察参加（岡山国際サーキット）

・スーパーＧＴ決勝レース視察　4/13　参加 19 人
・部会常任委員会開催　6/20　参加 8 人
・議員改選に伴う部会開催　7/11　参加 7 人
・県内商工会議所工業部会正副部会長会議参加　10/7　参加 2 人
・企業見学会＆ビジネス交流会実施（丸十アート格納庫Ｍ・グッドスマイルカンパニー楽月工場・望月工場見学）　11/21　参加 21 人

【建設業部会】

・空き家活用センターの活性化支援

・空き家・空き店舗活用に関する先進地視察

・家屋の耐震補強・改修の推進に関する勉強会・研修会開催

・部会常任委員会開催　5/29　参加 7 人

・議員改選に伴う部会開催　8/1　参加 14 人

・視察研修会　10/10～11　高知県（隈研吾建築ガイドツアー他）参加 13 人

・建設業部会常任委員会・中部地区の道路行政に関する講演会 12/2　参加 15 人

【金融業部会】

・大阪・関西万博等視察

・セミナー開催（創業、若者向け、学生）

・部会常任委員会開催　6/19　参加 10 人

・大阪・関西万博等視察　7/1～2　参加 26 人

・議員改選に伴う部会開催　8/1　参加 7 人

【観光交通部会】

・全国商工会議所観光振興大会参加（北海道）

・その他観光振興に関する視察

・部会常任委員会開催　5/8　参加 11 人

・議員改選に伴う部会開催　7/29　参加 13 人

・大阪・関西万博等視察　10/1～2　参加 23 人

・「トレンドをキャッチする！　生成ＡＩも活用　ニーズの読み方セミナー」

10/31 開催（主管）参加 18 人

【庶業部会】

・インテリジェンスに関する講演会

・その他講演・セミナー開催

・講演会「激動する世界と日本の進むべき道」　5/12　参加 23 人

・講演会「空き家の利活用について」　6/26　参加 10 人

・議員改選に伴う部会開催　7/17　参加 7 人

・「情報セキュリティ対策基礎セミナー」　8/29　12 人参加（主管）

（５）役員・議員改選による組織体制の充実

・３号議員、２号議員、１号議員を確定し１０月末に役員・議員の改選を行い組織体制の充実を行った。

【令和７年度収支決算書】

会計名	本年度決算額	本年度予算額	比較増減
一般会計	80，253	76，540	3，713
中小企業相談所特別会計	106，992	107，033	△41
共済事業特別会計	74，025	82，271	△8，246
労働保険事務組合特別会計	3，392	3，301	91
会館管理運営特別会計	11，363	11，015	348
中心市街地活性化事業特別会計	7，787	8，770	△983
空き家サポートセンター事業特別会計	71，045	72，370	△1，325
くらし応援商品券事業特別会計	1，000	192，994	△191，994
合計	355，857	554，294	△198，437

（単位：千円）